

教育ニュース



6月10日(金)レベルⅢ研修「倫理 意思決定支援」を実施しました

講義で、臨床倫理の4分割法について学んだあとに、事例を用いてグループワークを行いました。グループワークではまず、情報を4分割法で整理し、足りてない情報について考えました。



患者さんの思いはどうなんだろう？
患者さんは認知症があるけど、思いや考えは伝えられるのかな？
家族もどう思っているんだろう？

ロールプレイで患者さんの思いを聴く

これからのことが心配なんです。皆で一緒に考えますよ！



NURSEを用いたコミュニケーションスキルを実際に見て学びました

患者さんは家に帰りたんだ！でも、これ以上家族に迷惑をかけたくないと思っているんだ。家族も、家で過ごさせてあげたいけど、何をしたらいいのかわかっていないんだ。

どこにジレンマを感じる？整理した情報から、倫理の四原則のどことどこが対立してるかな？

患者さんに自宅退院させてあげるとは患者の思いを尊重することになるけど、自宅で誤嚥して、命の危険があるかもしれない

つまり

自律尊重原則と無危害原則が対立している

患者の自宅退院をかなえるためには、どんなケアが必要か？具体的に考えていく必要がある。

- ・嚥下訓練、継続できるリハビリ
 - ・社会資源の活用
 - ・患者と家族の話し合いの場を作る
 - ・必要な情報提供
- など

意思決定支援における看護師の役割は？

- ・患者の思いを聞けるコミュニケーション能力
 - ・患者と患者を取り巻く環境の把握と調整
 - ・倫理的課題に直面したときにカンファレンスの開催
- など

研修後のOJT

1. 臨床倫理の4分割を活用し倫理的課題を検討し看護を実践する
2. 先輩看護師が患者の思いを聞きだす場面を見学する

以上2点を研修生に伝えていきます。現場でのご支援よろしくお願ひします。

